

みなさんこんにちは、県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。

突然ですが、「だじゃれ」と言われてイメージするのはどんなことでしょうか。

いわゆる「親父ギャグ」を思い浮かべて、「寒い」と周りから言われてしまうイメージでしょうか？

『新明解国語辞典』では「少しも感心できない、つまらないしゃれ」とあります。

また、ピクシブ百科事典には、

- ・面白いものをシャレ
- ・つまらないものをダジャレ
- ・しょもないものをおやじギャグ といった説が掲載されていました。

このような感じで、冷たくあしらわれがちな「だじゃれ」ですが、最近の小学校の国語の教科書では、言葉あそびの1つとして「だじゃれ」が紹介されているようです。我が家の次男坊（小学1年）も「布団がふっとんだ」から始まり、今では会話の3割程度が「だじゃれ」になっています…。最新作は「ワタナベさんが割った鍋」。子どものだじゃれには、笑いと共に「おーっ」と感心することが多々あります。だじゃれ遊びには、たくさんの知育効果やメリットがあるようです。

だじゃれを楽しむことにより得られるメリットとは

①親子のコミュニケーションツールに最適

だじゃれを思い付いた時の子どもの笑顔、そして、だじゃれを言い合うことで生まれる笑顔。だじゃれのある毎日は、特に意識しなくても自然と会話が生まれ、豊かな時間になるはずです。

また、親が笑う、または褒めることで子どもは自信をつけて、非認知能力の中でも大事な力である「自己肯定感」が育まれると思います。

②明るく平和な空気になる

親も落ち込んだりイライラしたりすることもあるでしょう。そんな時、子どもが思い付いただじゃれを言ってくれれば、思わずこちらも笑顔になって嫌なことが吹き飛ばすことも。逆に、子どもが元気のない時や落ち込んでいる時に、こちらがだじゃれを言うと子どもが笑顔になるので、こちらも自然と笑顔になります。

笑うことには、脳の働きが活発になり記憶力アップや免疫力アップ、血糖値・血圧の上昇を抑制などといった効果もあるようです。

③伸びしろは無限大！語彙力がUPし続ける

だじゃれを楽しむようになってから、息子の語彙力が格段に上がっています。テレビや本、漫画など、いろいろなところから言葉を探し、似たような言葉を頭の中にため込んでいるのだと思います。言葉に対するアンテナを張り、角度を変えているような言葉と向き合うことで、新しい言葉と出会い、意味を理解し語彙力が増えます。

聞く側もわずかな時間ですが「このだじゃれは、どのワードが何にかかっているのだろう」と考えます。聞く側も間違いなく頭が働きます。

④挑戦する姿勢&強い心が身につく（この項目は、かなり私見が入っています）

だじゃれが確実にウケるわけではありませんが、言わないとウケません。ウケるかは分からないけど、まずは「言ってみる」。挑戦せずに成功はありません。だじゃれを言い続けることによって、挑戦する姿勢が身につきます。また、「しーん」となっても挑み続けることにより、多少のことではへこたれない強い心が身につきます。（次男を見ての感想）

楽しい言葉あそびを通して、子ども達の語彙力・表現力を刺激しながら、言葉に対する感度・関心を高めることができます。「だじゃれ教室」や「だじゃれ道場」といったイベント（オンラインの場合もあり）もあるようです。

特別な道具や広い場所を使わなくてもできるので、生活に、遊びに取り入れてみてはいかがでしょうかでしょう。

【参照】

[だじゃれで語彙力UPにつながる!?実は知育効果のあるだじゃれ遊び! - Chiik! \(チーク\) - 乳幼児～小学生までの知育・教育メディア-](#)

[日本だじゃれ活用協会 - だじゃれは世界を救う! \(dajare-zukai.jp\)](#)

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★